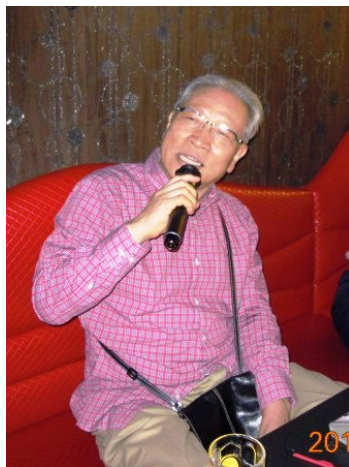
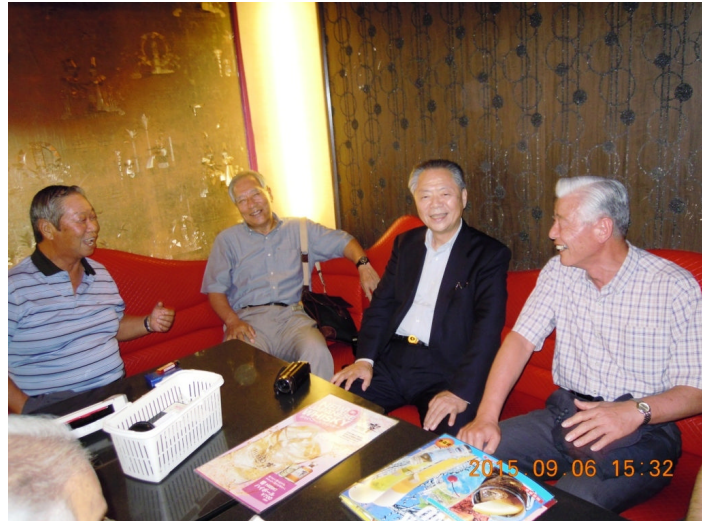


## 関東支部総会兼大久保君歓迎会(その2)

9月6日(日)、アルカディア市ヶ谷内中国料理「翠」(すい)での一次会を終え、タクシーで駿河台下の「カラオケ館 神田小川町店」に移動し、二次会を行いました。

参加者は8名でした。写真右は、左から大久保君、新谷君、長岡君、池田君です。

いつも予約係をしてきている倉田君に今回もお願いしました。最初にインプットした歌は「下関漁港節」で、倉田君と長岡君が唄ってくれました(写真下左右)。



写真右は小西君の「高校三年生」です。いつも倉田君は唄えそうな曲を入れて指名するといったことをやっています。

前回は「海ゆかば」を私に唄えと言われて往生しましたが・・・。



池田君は千昌夫が得意で、東北なまりで唄います。写真下左は「夕焼け雲」を唄っている池田君です。「帰りたいけど下関～、帰れない～」と唄っています。

大久保君のレパートリーの広さには驚きました。私の知らない歌ばかりです。忘れないようにメモを取りました。「青春のポケット」「ひとり酒場で」「昭和流れうた」「東京グラス」の4曲でした。写真下中は、小指を立てて唄っている大久保君です。彼は正真正銘の「カラオケ・オタク」です。

長岡君は新川二郎の「君を慕いて」を唄いました。彼はいつものことながら、一次会からビデオ係をやってくれました。二次会を含めて、DVDをそのうちに提供していただけたと思います。



写真右は「島唄」を唄っている武田君（向かって右）と応援をしている池田君です。沖縄情緒に、しばし浸ることができました。

今回は、初めて井上(滋)君が二次会に参加されませんでしたので、彼の持ち歌である「思い出のステーション～下関駅～」を、池田君や皆さんの支援を受けながら、村川がしどろもどろに唄い、下関を唄びました。

大トリは新谷君の「風雪ながれ旅」（北島三郎）でした。紅白歌合戦を彷彿とさせる熱唱で、実に感動しました。

予定の2時間があっという間に過ぎ去り、後ろ髪を引かれながらカラオケ館を後にしました。

大久保君を迎えて、たいへん楽しい一次会、二次会でした。今後とも関東支部の皆さんや本部の皆さんの御参加を得て、残り少ない人生、少しでも楽しくかつ充実した時間を共有させていただきたいと思う次第です。

(終わり)

